

社会福祉 しずおか

1

No.794

特集 福祉現場の魅力を語る
～だから、福祉は面白い～

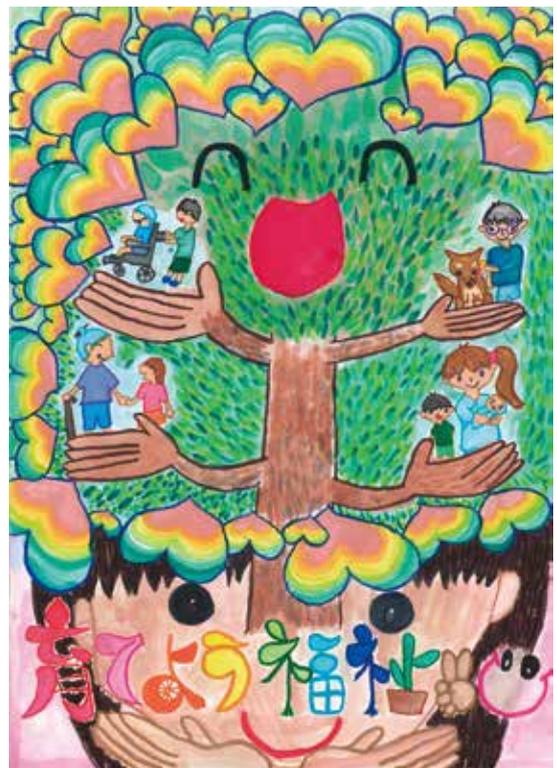
福祉のまちづくり絵画コンクール優秀作品を紹介します(平成27年度)

テーマ やさしさでつながる福祉(しあわせ)のまち



★静岡県健康福祉部長賞

沼津市立香貫小学校(5年) 矢吹 友美 さん
「福祉はコミュニティから」
向こう三軒から仲良く、しかもお年寄りを大切にしている。



★静岡県知事賞

浜松立金指小学校(6年) 大隅 愛 さん
「育てよう福祉心」
人を思いやる気持ちを木に例えました。

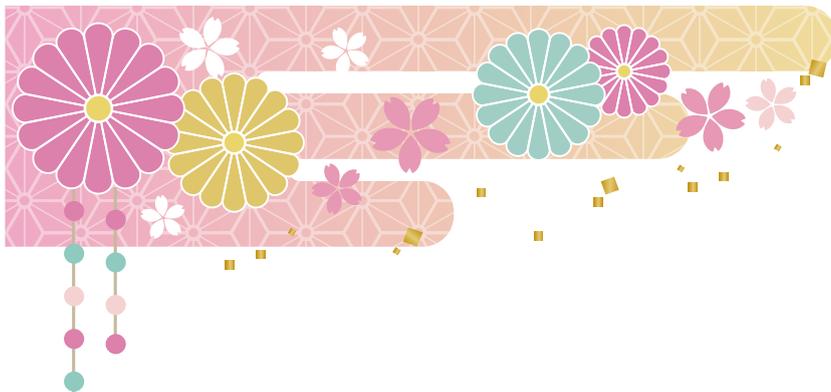
※学校名、学年は平成27年度のものです。

編集発行



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号 電話.054-254-5248 FAX.054-251-7508 <http://www.shizuoka-wel.jp>
E-mail spcsw@shizuoka-wel.jp



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
会長 神原 啓文

新春のご挨拶

新年あけましておめでとう
ございます。

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
旧年中は、本会事業の推進に多大
なご理解とご協力をいただき、誠にあ
りがとうございます。

さて、社会的孤立や経済的困窮、
虐待、ひきこもりなど、深刻な問題が
拡大する中、国においては、社会福祉
に係る様々な制度改革が進められて
きております。

とりわけ、本年4月に施行されま
す改正社会福祉法の主旨に則り、本
会としても、これまで以上に「地域に
おける公益的な取組」を、広域的な
見地から推進してまいります。

また、本年は、待機児童ゼロ及び介
護離職ゼロを目指した受け皿の整備、
求められる保育・介護サービスを提供
するための人材確保に向けた処遇改
善、さらには給付型奨学金制度の創
設など、一億総活躍社会の実現に向け
て、未来への投資が加速されていく
重要な年であります。

本会としても、無料職業紹介事業
における、きめ細やかなマッチングに努
め、福祉・介護分野への就労支援を強
化していくとともに、研修の充実や経
営者層を対象としたセミナーの開催
などにより、質の高い人材育成と職

場定着を支援してまいります。

また、本年は、民生委員制度創設
100周年を迎えます。

民生委員制度は、本県富士市出身
で静岡県知事も務められた笠井信一
先生により、大正6年に濟世顧問制
度として発足いたしました。強い使命
感と情熱をもった先人達により、常に
時代の要請にこたえて、ひたすら社会
福祉の向上に尽くしてこられました。

従来から、民生委員・児童委員と社
会福祉協議会は、地域福祉を推進し
ていく上で「車の両輪」と言われてお
ります。一人ひとりの住民の生活に目
を向け、制度では対応が難しい課題
について、共に解決策を考え、これまで
地域活動や福祉サービスなどを牽引
してきました。

制度創設100周年を節目とし
て、お互いの役割を再確認し、今後と
も、地域福祉の推進に共に尽力して
まいりたいと存じます。

一方、東日本大震災や、一昨年の関
東東北豪雨災害、昨年の熊本地震な
ど、自然災害が多発している中、人々
の生活の安全、安心をいかに守ってい
くのが問われております。災害の
教訓を風化させることなく未来に活
かすことは、我々に課された使命であ
ります。

本会としても、天災を人災としな
いため、県災害ボランティア本部情報
センターの体制整備及び社会福祉施
設や地域の要配慮者を支援する「静
岡県災害福祉広域支援ネットワーク」
を構築し、災害派遣福祉チーム
(DCAT)の人材育成と組織化を
図ってまいります。

災害の備えにおいて何よりも大切
なのは、地域における支え合いであり
ます。地域の「絆」をより一層強固な
ものとするため、公的サービスでは行
き届かない日常生活での「ちょっとし
た困りごと」を、地域住民同士で支
え合う「生活支援サービス」や「居場
所づくり」を関係機関・団体と協働し
て進めてまいります。

本年も、本県社会福祉の発展のた
め、さらなる努力を続けてまいりま
すので、引き続き、皆様方のご支援、
ご協力をいただきますようお願い申
上げます。

皆様方にとりまして、この一年が明
るく実り多き年となりますようご祈
念申し上げます。新春の挨拶とい
たします。

福祉現場の魅力を語る ～だから、福祉は面白い～

少子高齢化の進展や団塊の世代が後期高齢者を迎える「2025年問題」などを背景に、今後、ますます必要とされる「福祉人材」。平成29年新春号は、この「福祉人材」をテーマに、高齢、障がい、児童などの各分野で活躍している若手・中堅職員の座談会を開催し、「福祉の魅力」「やりがい」「職場に期待したいこと」などを語っていただきました。

「福祉」との出会い、志したきっかけ

岡部 みなさんがこれまで、どのような知識や経験を積んで、今どのような思いで仕事をしているのか。福祉人材を現場へ送り出す立場でもある大学教育の関係者としても、本日の座談会はとても楽しみにしていました。ぜひ、現場の生の声をお聞かせいただきたくたいです。さっそく、1つ目のテーマとして「福祉を志したきっかけ」をお話ください。

認知症の祖母の存在

青野 私が大学生の頃に祖母が認知症を患い、母や祖父が介護をしていました。祖母は母や祖父に暴言を吐くこともありますが、ある時、祖母との会話の中で、「本当はそんなこと（暴言）は言いたくない。でも止められなくなってしまうの。」と話してくれたことがあります。その言葉がとても印象的で心に刺さり、それまで福祉の専門的な勉強はしてきませんでした。母や祖父のような介護者を支えていきたいと思うようになりました。

高校時代の福祉との出会い

幸田 私の出身高校である聖隷クリ

ストファー高校では、月に1回「労作」と呼ばれる授業がありました。それはボランティア体験をする授業で、高校の周りは聖隷グループの福祉施設がたくさんあり、施設によくボランティアに行っていました。知的障がいの施設に行くことが多く、最初は戸惑うことばかりでしたが、何回か通うことで慣れてきて、職員と利用者の関わりがよく見えるようになりました。職員が、言葉が伝わりにくい利用者やジェスチャーなど、とても楽しそうにその方に伝えるためのいろんな工夫をしていて、コミュニケーションにはいろんなやり方があるという気づきと、「面白そう」という気持ちが芽生えました。その後、聖隷クリストファー大学に進学して、福祉を具体的に学ぶ中で元々コミュニケーションをとることは好きでしたので、この分野は自分に向いているのではないかと強く思うようになりました。

弟の存在

吉田 私は年の離れた弟がいて、遊んだり面倒を見る中で「小さい子ってかわいいな」と感じるようになりました。また、親と一緒に保育園へ弟を迎えに行く保育士が楽しそうにピアノを弾いていた、笑顔で話しかけてくれ

たことは今でも覚えています。当時、幼いながらに保育士にあこがれ、こういう仕事を指してみたいと思うようになり、中学校や高校の職場体験でも保育園に行っていました。

当たり前前にあった福祉

鈴木 私は子どもの頃、親が共働きをしており祖父母の家で過ごすことが多く、祖父母に遊んでもらったりいろんなことを教えてもらいました。ま

静岡英和学院大学 人間社会学部
コミュニティ福祉学科

准教授 **岡部 真智子** 氏
(座談会コーディネーター役)

専門分野:高齢者の居住問題、
地域福祉社会福祉実習教育など



社会福祉法人静岡市社会福祉協議会
葵区地域福祉推進センター

主事 青野 真也 氏

勤続4年目
地区担当として
地域福祉の推進に取り組んでいる



魅力ともいえる、職員や利用者の「人がもともと持っている暖かさや人間味」に惹かれて福祉の道に入った点が共通していると感じました。それでは続きまして、2つ目のテーマとして「福祉の仕事は『ここが面白い』と感じた場面」についてお話ください。

福祉の仕事『マンガが面白い』

利用者の笑顔

た、通っていた小学校のとなりに特別支援学校があり、定期的に交流もしていました。大学のサークル活動で高齢者と関わる機会があり、おじいちゃん、おばあちゃんと話したり、接することが楽しいと思うようになりました。今思うと、普段の生活の中に自然に「福祉」があつたような環境だつたと思います。なので、違和感なく福祉の道に進んだのだと感じます。

岡部 みなさんの話を伺うと、福祉の

鈴木 私が働いている職場は利用者のほとんどが認知症を患っています。

また、身体に不自由を抱えている利用者も多くいます。私としては、なによりも利用者の笑顔を見ることができた瞬間や、日々の生活でその人らしくリラックスして穏やかに過ごされている場面や様子を見ることができた時に、やりがい、働きがいを感じます。また、利用者の最期に立ち会う、看取りをすることもあります。その人らしい最期を迎えるため、職員や御家族と一緒の気持ちになつて看取りができたと感じた瞬間に、なんとも言えないこの仕事の醍醐味みたいなものを感じます。もちろん責任もありますが、そのような場面に関わらせていただき有難いと

思っています。施設に入居するまで、ずっと一緒に生活してきた御家族との調整はとても悩みます。利用者として御家族の意向が違ふときがあり、どうしようかと頭を抱えますが、職員と相談しながら取り組み、それがよい結果になればやりがいを感じます。そんな時に、自分1人で支援しているのではなく、いろんな人が関わつてその人を支えているのだと感じます。

子どもの成長

吉田 私が働いている職場では、発表会で鍵盤ハーモニカをやります。練習

している中で、鍵盤ハーモニカが苦手な子がいました。上手になりたいと一生懸命に練習をしていたので、私もその子にじっくりと関わつていきました。すると、少しずつ指の運び方も上手になりました。頑張つた姿を褒めると本人の自信にもつながつたようで、子どもの険しかった顔が笑顔になり鍵盤ハーモニカと向き合えるようになっていたのです。そうやって、子どもの成長していく姿を身近に感じられること、成長に関われることにやりがいを感じます。また、先日はおやつ時間に蒸しパンが出ました。その下に敷いてあるアルミホイルを使つて、子どもが「先生、見て

社会福祉法人天竜厚生会
障害者支援施設 赤石寮

幸田 瑞紀 氏

勤続6年目
知的障害をもつ利用者の
支援にあたっている



「いちようができたよ」とアルミホイルで折つたいちようを見せてくれました。食べ終えたアルミホイルでも工夫して遊びにする発想や、大人では考えられない想像力が見られた時に保育の面白さを感じます。

気持ちを取り戻すことの難しさ

幸田 私は重度の知的障がいをもつ



社会福祉法人あゆみ福祉会
あゆみ第2保育園

保育士 吉田 百合奈 氏

勤続4年目
幼児クラスを担当している

利用者が多いユニット(小人数グループの生活単位)で働いています。気持ちを手先に表現できない利用者も多く、また障がいの特性のため気持ちの浮き沈みが激しい行動として現れる利用者もいます。そのような利用者との関わりとしては、利用者の気持ちの浮き沈みや抱えている衝動、願いをいかに汲み取ることができているかが求められる仕事だと感じています。日頃からどのような場面で行動に現れるのか、

日々記録を取って積み重ねていき、職員みんなで話し合い、検証をしています。仮に気持ちを汲み取ることができても、今度はこちらの気持ちを上手に伝える必要があります。伝え方も利用者によって様々でも難しいですが、上手に伝えることができ、意思疎通が図れたと思えた時はとてもやりがいを感じます。また、重度の知的障がいのため住み慣れた地域に戻って生活することが難しく、20代から入所してそのまま生涯を終える利用者もいます。何十年の間、長い期間に渡り利用者と関わることになり、もちろん家族ではないですが「最も家族に近い第三者」のような立場だと感じています。その利用者の人生に私の仕事が大きく関係しているとも感じ、やりがいになっています。日頃の私の支援、一つ一つがその人の人生や生活の質に直結している、結びついていると気づいてからは、一つ一つの支援を大事にしようと思っています。日々の生活、1日1日を楽しくでもらえるように支援を心がけています。

人とのつながり、住民の変化

青野 社会福祉協議会(以下、社協)のやりがいや面白さは、人とのつながり

の大切さを実感できるところです。今年から地域担当になり、地域住民の方々と接する機会も増えました。その中で、人とのつながりの大切さを教えてくれた出来事があります。困りごとを抱えて私が担当する地区に引越してきた方がいました。社協職員が支援に入っても話を聞いてくれないことが頻繁にあり、地域の高齢者サロンを紹介しました。するとサロンに参加して楽しかったようで、久しぶりに訪問して会った時は、ボサボサだった髪の毛がさっぱりしていて色もついて綺麗になっていました。ニコニコと楽しそうにサロンの活動内容を教えてくれて、他の人とのふれ合いや関わりを持つことで身なりにも気を遣うようになり、友達もできたようでした。また、家族介護者の支援も担当しており、月に1回、「家族介護者のおしゃべり会」を行っています。参加者の中には暗い顔で介護に疲れきった表情をしている方もいますが、ボランティアさんと話をすることで笑顔になり、何回かの参加を経て、最近では笑顔で参加してくれる方もいます。そのような地域住民の方々の変化を見ると、住民の支え合い、助け合いの力はすごいと実感しています。



社会福祉法人春風会
小規模特養 プレーゲあしたか

鈴木 桃子 氏

勤続8年目
介護職員として利用者のケアにあたっている

岡部 大変な中でも楽しさを見つけながら、イキイキと働かれている様子が目に浮かぶようです。最後に、3つめのテーマですが、そのようなやりがいや働きがいを持ちながらこれからも仕事を続けるうえで、「職場に期待したいこと、求めたいこと」について、お聞きしたいと思います。

職場に期待したいこと

風通しの良い職場づくり

青野 現在は地域部門にいますが、協力は介護、児童、総務などいろんな部署があり、もともと内部で連携していく必要があると感じています。私に関わっているケースで、介護保険の滞納世帯があり介護部門の職員が訪問すると、滞納以外に様々な問題を抱えていることがわかりました。そこで、問題を解決するために地域部門と連携し、そのご家族を民生委員や地区社協と繋げていきました。このケースでは介護部門から情報が入ってきましたが、いろんな部署から問題が入ってくるので、社協組織として受け止めるためには部署ごとにしつかりと連携をとる必要があります。各部署で社協の使命である「地域づくり」という同じ意識をもって仕事に取り組めるよう、風通しの良い職場にしていきたいです。

職員間、利用者間、施設間の連携と交流

幸田 私の施設は男女で階が分かれています、さらにそれぞれの階が4つのユニットに分かれています。小グループご

とのユニットのため、利用者の細かい部分まで見ることができていると思っていますが、ユニットごとの交流や職員間でもコミュニケーションが取りづらいたとも感じています。男女で階が分かれていることに理由があると思いますが、少し不自然だとも思います。また、天竜厚生会の敷地内にはたくさん施設があります。施設間の交流は多いとは言えません。施設間の職員交流がもともと実施できれば、それぞれの施設の良い点や工夫している点などを知ることができないのではないかと感じています。利用者においても、年に2回、社会参加の一貫でサッカー観戦や野球観戦、水族館などに出かける社会活動を行っています。この取組も施設ごとではなく法人内で柔軟に実施することによって、利用者間の交流にも繋がるのではないかと感じています。

安心して働き続けることができる職場づくり、処遇の改善

吉田 勤務時間内には子どもがいるため書類の仕事が後回しになってしまいがち、どうしても勤務時間外にやらなくてはいけなくなっているためプライベートの時間が削られてしまい、それがス

トレスとなっていることがあります。そのため、勤務内に書類仕事も含めて行えるような職場環境（人員配置）を整っていくと良いと思います。また、私の知る限りでは保育士としての経験を重ねても賃金の上昇率が低く、長く続けることのメリットが無いように思えてしまうので改善を期待したいです。

一人ひとりの利用者に向き合い、寄り添える職場体制

鈴木 今の職場を見てみると、今回のような「どんな場面にやりがいを感じているのか」、「職場に何を期待したいのか」といった話をする時間も余裕もないように感じます。利用者に対する職員の思いや願いを叶えることができる職場にしていきたいです。一人ひとりの利用者にしつかりと向き合うことができ、寄り添える職場体制に期待したいと思います。

岡部 本日は3つのテーマで座談会を進め、皆さんから建設的で貴重なお話を伺うことができました。皆さんのような職員がいらっしゃる法人は活気ある素晴らしい現場だと感じました。これからの皆さんの御活躍を祈念いたします。以上で座談会を終了いたします。



<p>カーテン・リース&クリーニング</p> <p>特許取得の出張クリーニング車にて施設に訪問、取外し、クリーニングから取付けまで全ておまかせの予備不要短時間低料金システムでお喜び頂いています。 ほずれ程度の補修から欠落部品の補充サービスまで実施します。</p> <p>メンテナンス付リースでカーテンはいつもきれいです</p> 	<p>カーペットタイル・リース&丸洗い洗浄</p> <p>全国初、カーペットタイル丸洗いシステム。◆汚れ頻度の高い店舗、ゴルフ場 ◆衛生面で除菌消臭に気配りが必要なホテル、保育室 ◆短時間乾燥では休館日が無く人の往来が激しい老人ホームなど多様な施設でお役に立ちます。</p> <p>洗浄前 洗浄後</p> 	
<p>販売から後々のメンテナンスまで・・・ 株式会社三ナフ 静岡市葵区産女1060番地の1 ☎054-295-9002 Fax054-295-9003</p>		
<p>独自洗浄方式開発によりメンテナンス対応が広がりました。 洗浄から乾燥迄、短時間で行い、リースも可能に。ブラインドもOK</p> 	<p>当社独自の舞台幕メンテナンスです大変お喜び頂いています。 ご注文の時期が集中します。御早めに予約願います。</p> 	<p>カーテンレールは勿論の事、ロールスクリーン・シェード・ブラインドに至るまで修理修繕対応します。</p> 
<p>ロールスクリーンクリーニング</p>	<p>学校の舞台幕(緞帳)</p>	<p>修理・修繕</p>

二酸化塩素の空間除菌剤 開封後 約60日間持続

ウイルハント

Will Hunt 60

ウイルス除去 除菌 消臭

「ウイルハント60」1箱30セット入
施設限定特別価格 ~~29,400円~~ → **20,400円!!** 詰め替え用もあります!

Will Bash ウイルバッシュ・スプレー
空間のウイルス除去・除菌・消臭に

二酸化塩素で **固めて安心**
嘔吐物処理キット
嘔吐物の緊急処理に
もご用意しております!

お問い合わせは・・・
一般社団法人 静岡県社会就労センター
TEL: 054-294-8694 FAX: 054-294-8695

接客など



学校・保育園や施設で



玄関・トイレに



受験シーズンにも



社会福祉しずおか12月号訂正について

社会福祉しずおか12月号の特集「障害者権利条約の締結と障害者の社会参加に向けて」について、お話を伺いました「静岡県立大学国際関係学部教授・大学院国際関係学研究科教授 石川 准氏」のプロフィールに間違いがありました。お詫びして訂正いたします。

- 【正】1977年、点字受験で史上初めて東京大学に入学。
- 【誤】1989年、点字受験で史上初めて東京大学に入学。

YAMAHA
 感動を、ともに、創る

音楽を灯そう。

明かりとともに、音楽がとけこみ心地よさを
 毎日の暮らしのなかへ。
 ライティングオーディオ「レリット」です。

ヤマハ ライティングオーディオシステム
Relit Light & Music
 Blending into One

ヤマハ株式会社

ありがとうございました

県社協への寄附金

静岡県行政書士会 様から本会（一般寄附金）へ
 100,000円の寄附をいただきました。（12月8日）

右) 静岡県行政書士会 副会長 月見里 和夫 様
 左) 本会 常務理事 杉田勇三

静岡県社会福祉人材センター研修課主催の研修会のお知らせ

平成29年3月開催分をお知らせします。

★ラクラク申込み『WEB サービス』（会員対象）を御利用ください！
 →WEB サービスサイト <http://www.shizuoka-wel.jp/member/training>

研修NO	研修名	開催日	会場	対象者	内容・講師
68	看護職員研修	3/8	シズウエル	社会福祉施設等に勤務する看護職員	社会福祉施設等に勤務する看護職員に必要な知識・技術の習得 講師:特別養護老人ホームぬまつホーム 次長 渡邊 浩美 氏

◎最新の「研修開催の情報」を、電子メールで事業所様にお知らせします！

kenshu@shizuoka-wel.jp に ①事業所名 ②事業所種別 ③電子メールアドレスを入力の上、件名「研修開催の情報 メール送信希望」として送信してください。なお、2か月経過しても配信がない場合は、下記研修課まで御連絡下さい。

◎福祉職員生涯研修は、平成28年度から福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程に改定しました。

☆詳しくはホームページをご覧ください [静岡県社協 研修](#) 問い合わせ先: 研修課 電話 054-271-2174

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成28年度

ボランティア活動保険

全国200万人
 加入!!

補償金額（保険金額）

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料（1名あたり）

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			300円	450円
	天災タイプ(*) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		430円	650円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受兼事
 保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
 TEL: 03 (3593) 6824
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
 営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。